

信州 なかののシンボル



NAKANO スナッパ



サクランボ狩り

◀サクランボ狩りを体験する園児たち

6月15日、たかやしろ保育園の園児が、竹原地区のサクランボ農園を訪れ、サクランボ狩りを体験しました。

これは、楽しみながら地産農産物に親んでもらうことを目的に、JA中野市サクランボ部会と同部会観光部が企画し、年長園児24人が招待されました。

園児たちは、「佐藤錦」などの品種がたわわに実ったハウス内で、真っ赤に熟した実伸手を伸ばし、口いっぱいに頬張りながら、旬の味を楽しんでいました。



信州なかの まちなか美術館まつり

◀市収蔵の絵画を鑑賞する観覧者の皆さん

6月1日から、中野陣屋・県庁記念館など4施設を会場に、市にゆかりのある作家が創作した作品を中心とした、市収蔵美術作品移動展を開催しました。

また、市内の民間美術館などに協賛いただき、「信州なかの まちなか美術館まつり」と題して、市街地周辺を中心に、多くの美術作品を展示しました。市収蔵美術作品展は、8月5日まで一本木公園展示室において開催しています。（写真：中野陣屋・県庁記念館展示室）



資源物等排出支援事業がスタート

◀玄関先で資源物を回収する作業員

5月31日、市内において、本年度から新たに始まった「資源物等排出支援事業」の第1回目の回収を行いました。この事業は、新聞紙、ダンボール、びんなどの「資源物」を指定場所まで運ぶことが困難で、ほかの方の協力が得られない世帯などを対象に、玄関先まで作業員が回収に伺うものです。

市では、対象になる世帯の申し込みを随時受け付けています。

サッカー「キッズ教室」

▶人工芝のふかふかした感触を楽しむ園児ら

6月14日、多目的サッカー場において、一般社団法人中野エスペランサスポーツクラブ主催による「キッズ教室」が開催されました。

当日は、西町保育園の年中・年長園児56人が参加し、施設内にある花壇に、300株の花苗を植栽した後、スポーツクラブ指導員の指導のもと、人工芝のグラウンドで、サッカーボールなどを使って体を動かし、スポーツの楽しさに触れていました。



消防団ポンプ操法・ラッパ吹奏大会

▶5連覇した第10分団上今井部のポンプ車操法

6月24日、第8回中野市消防団ポンプ操法およびラッパ吹奏大会を北信合同庁舎駐車場で開催しました。

これは、消防技術とラッパ吹奏技術の向上および消防活動の充実を図ることを目的としたもので、当日は、市内の11分団が出場し、日ごろの練習の成果を競いました。大会結果は、ポンプ車操法の部は第10分団上今井部、小型ポンプ操法の部は第1分団小田中部、ラッパ吹奏の部は第1分団がそれぞれ優勝しました。



市長を囲んでふれあいトークング

▶震災について意見交換する市長と参加者

普段市長と話す機会の少ない女性を対象に、市長を囲んでふれあいトークングを6月29日、中野市人権センターにおいて開催しました。

当日は、17人が参加し、「震災後、今私たちにできること」をテーマに意見交換を行いました。

参加された皆さんは、東日本大震災および長野県北部地震の被災者や被災地に対する思いなど、日ごろ感じていることを発言されていました。



表紙の説明

中野市多目的サッカー場 完成

6月30日、中野市多目的サッカー場のしゅん工式が行われました。しゅん工式前には、元競歩日本代表の酒井浩文さんの指導のもとウォーキング教室を開催し、人工芝の感触を楽しみながら汗を流しました。

しゅん工式では、小田切市長をはじめ来賓の皆さんによるキックオフが行われ、市のスポーツ振興の新たなスタートとなりました。式終了後は、サッカーの交流試合が行われ、白熱したプレーが展開されました。

